

運送



c094-014-005

京都市左京区世田町
京都大学基礎物理学研究所
湯川 秀樹 先生

謹賀新年 本日 朝永先生の呼びかけで、丁度 佐制小春で
 御上りの 坂田先生、小川、藤本、西居、学術会議の 福島氏
 科子朝日の 岸田氏、科子と人肉の会、加藤ハズ、女史、それに
 小沼君と少宮が日を橋うさぐらに集り、パグウオッフ会議の相談
 とにしました。その要旨とここに伝えし、先生の忌憚りない
 御意見と承る。一月二十五日 坂先生御上りの折にむか、朝永、
 坂田両先生にお聞かせ願えれば幸甚に存じます。

一、来る九月のロンドンにおける、パグウオッフ会議の出席者と
 湯川、朝永、坂田の三先生として 学術会議に正式に申出てみる。
 一月二十五日の学術会議運営審議会には、ストウ会議の報告者として 先生が出席し説明する。

二、学術会議のほうは、一人しか出ないほうから、加藤女史の岡山
 における 皇海果めに 朝永先生のカネを入れて下さる。

三、フランスにおられる 武谷先生、朝日とやめられた 田中徳次郎氏

X

昭和37年1月20日

東京都豊島区池袋三丁目

豊田利寿

立教大学

電話東京(983)〇一一番(大代表)
振替口座東京二二六四〇番

に出席して戴ければお金の向題はなにも知れない。

四、ロンドン会議に日本から何を出すか、という向題に関連して、日本に

おけるパケウツエ会議精神の実践とどうりみで 日本版パケウツエ

会議と左記のような要領で開いてみるどうか。(勿論まだあま

も案外すか、今日の集りには大抵意見は一致してはいるはず)

。名稱 パケウツエ会議という名稱は避けて通る名を考へよ。

。スタート、湯川、朝永、坂田の三先生の呼びかけ (日本物理学会、アイニシタイニ)

。構成 議長 湯川、朝永、坂田、福島 (継続委員会にあたり、人選と行く)

。主題 科学者の責任、国際間の不信 と考へ、こういう会議を

続けてやこうという空気があまよりに努める。余り多く

と理をなす方がよいが、軍備の具作案をつくるプログラム

の必要性と学術会議をその地に呼びかける^(念書)の指示位はする。

。事務雑用 三月三日の基礎運営委員会までは東京まで

3 月 日

藤野、中西、石坂、中野の協力して行く。大筋の事務を終えよ。

それ以後は三島、藤野、KJRにお任せする。その理由は

○今場と基礎に

○期日と本年五月中旬 三日間位 とする。はら現地の方がよい

○費用 意見がうす。

○費用 特別に金を集めない。旅費滞在費は自弁ある。

トフツシツの出席者と予定するから。たけし 事務費

として十万円位は必要。これは何とかするところ意見

○出席者の顔觸れは一応議論されるが、前記 申 経 理 委 員 会

にまかせよ。たけし 江上(化学) 宮沢(宣伝) 草(中心)

田中(機) は 曾 報 び あ る う と い う 意 見 が 多 数 ありました。

出席者は十数名にしよう。

この会議の中心はとうしても先生になつて 戴かなくては意味がなくなり

以上

4 月 日

湯川先生

ますか、そのようなことを先生と御一人に相談出来ませんので、勝手な意見と唐突に並べたようになり申訳なく思っています。しかしこれは近く先生に朝永坂田西先生あついは先生が拜雇の上御相談する際の参考資料という程に軽く御受取り下さいますようお願い申し上げます。 匆々
一九三三年一月十八日

豊田利吉